

# 2017/3期 第2四半期決算説明会

# クオール

あなたの、いちばん近くにある安心

The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034



クオール株式会社



## ■ 2017/3期 1H決算概要

## ■ セグメント情報

## ■ 1H決算総括 & トピックス

## ■ 2017/3期 1H決算概要

## ■ セグメント情報

## ■ 1H決算総括 & トピックス

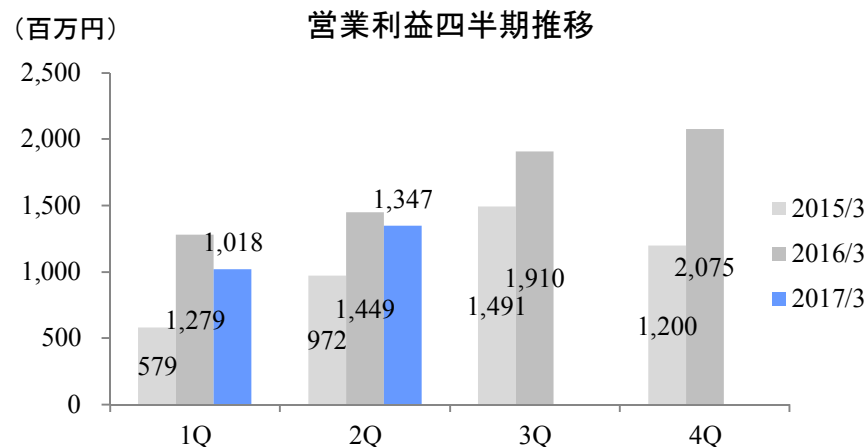
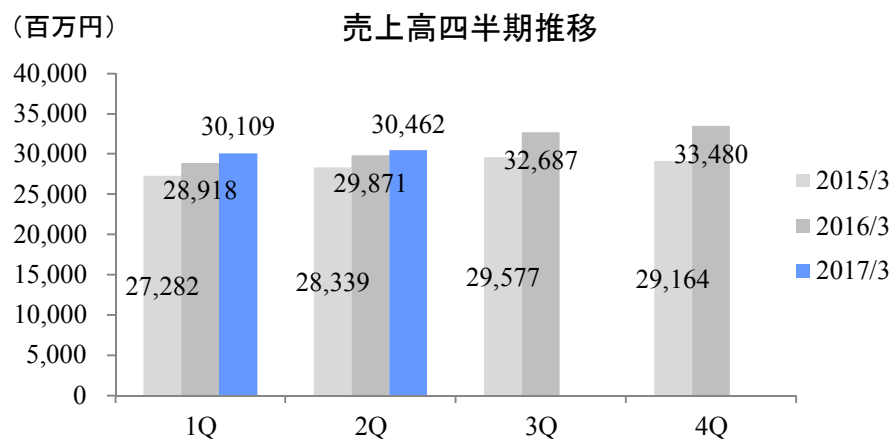
# 2017/3期 1H決算ハイライト・・・利益は計画を上回る



## □ 医薬品調達コストの削減・派遣事業が収益に貢献

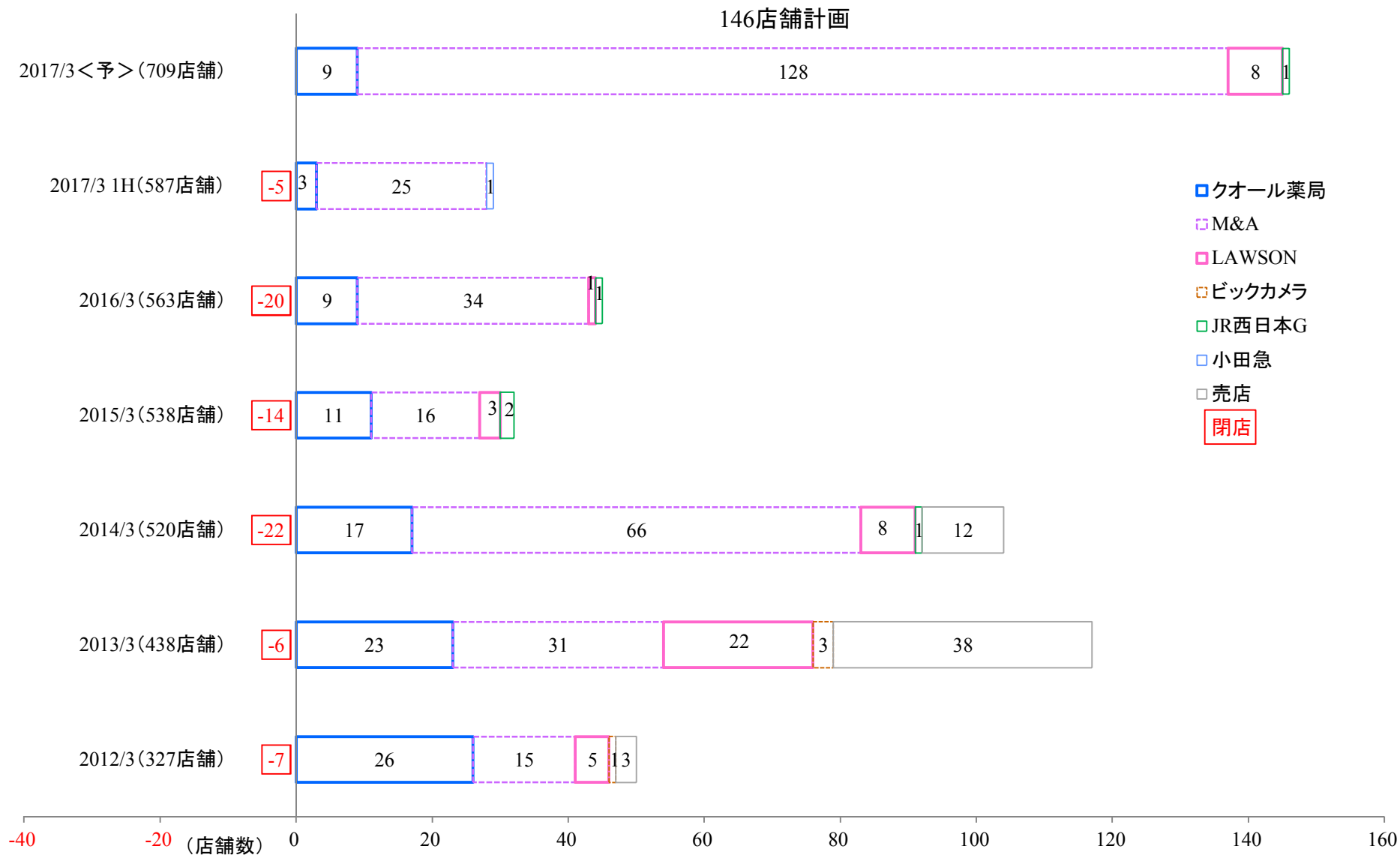
(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率 (%)	2017/3 1H計画	達成率 (%)
売上高	58,790	60,572	1,782	3.0	63,600	95.2
営業利益	2,740	2,366	-374	-13.7	2,300	102.9
経常利益	2,791	2,558	-232	-8.3	2,300	111.2
四半期純利益*	1,891	1,534	-357	-18.9	1,300	118.0
EPS(円)	55.01	44.48	-10.53	-19.1	37.70	118.0

※親会社株主に帰属する四半期純利益



✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

# クオール出店推移



# 損益計算書



(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率 (%)
売上高	58,790	60,572	1,782	3.0
原価	51,601	53,311	1,710	3.3
原価率 (%)	87.8	88.0	0.2	-
総利益	7,188	7,260	72	1.0
総利益率 (%)	12.2	12.0	-0.2	-
販管費	4,447	4,894	446	10.0
販管费率 (%)	7.6	8.1	0.5	-
営業利益	2,740	2,366	-374	-13.7
利益率 (%)	4.7	3.9	-0.8	-
経常利益	2,791	2,558	-232	-8.3
利益率 (%)	4.7	4.2	-0.5	-
四半期純利益※	1,891	1,534	-357	-18.9
利益率 (%)	3.2	2.5	-0.7	-
総人件費	10,836	11,763	926	8.6
人件费率 (%)	18.4	19.4	1.0	-

## □ 売上高

- 調剤事業: 55,079百万円(+897百万円)
- BPO受託事業: 5,492百万円(+884百万円)

## □ 利益

### ➤ プラス要因

- 医薬品調達コスト削減により数億円の利益を獲得
- アポプラステーション過去最高益

### ➤ マイナス要因

- 技術料が計画に対し下回る
- 人件費: +926百万円  
(うち原価 +776百万円、販管費 +149百万円)
- 設備費: +261百万円(のれん、減価償却費など)
- のれん償却前利益: 3,180 百万円  
(のれん償却費814百万円)

(人)	正社員	(うち薬剤師)	臨時雇用者
2017/3 1H	3,984	(1,746)	1,758
2016/3 1H	3,544	(1,569)	1,638
(YoY)	440	(177)	120

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 貸借対照表



(百万円)	2016/3	2017/3 1H
現金及び預金	16,523	20,964
受取手形及び売掛金	15,242	11,702
たな卸資産	4,254	4,680
流動資産合計	37,824	39,020
のれん	17,469	18,433
固定資産合計	31,996	32,545
<b>資産合計</b>	<b>69,847</b>	<b>71,603</b>
借入金	4,696	5,948
流動負債合計	29,344	26,477
長期借入金	7,520	9,873
固定負債合計	19,481	23,240
<b>負債合計</b>	<b>48,825</b>	<b>49,718</b>
資本金	2,828	2,828
資本剰余金	9,354	9,366
利益剰余金	9,680	10,732
自己株式	-1,469	-1,441
株主資本合計	20,394	21,485
<b>純資産合計</b>	<b>21,022</b>	<b>21,884</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>69,847</b>	<b>71,603</b>

■ **資産合計 +1,755百万円**

□ **流動資産 +1,196百万円**

現金及び預金 +4,440 百万円

□ **固定資産 +548百万円**

のれん +964百万円

■ **負債合計 +893百万円**

□ **買掛金 -3,109百万円**

□ **長期借入金 +2,353百万円**

□ **有利子負債 +5,441百万円 (23,551百万円→28,992百万円)**

ネットD/Eレシオ:0.37倍 (2016/3期:0.34倍)

(有利子負債-現預金)/自己資本

■ **純資産 +862百万円**

□ **その他有価証券評価差額金 -252百万円**

□ **利益剰余金 +1,051百万円**

■ **自己資本 21,601百万円**

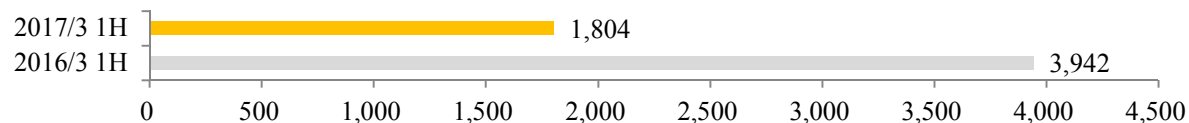
□ **自己資本比率:30.2% (2016/3期:29.7%)**

# CF計算書



(百万円)

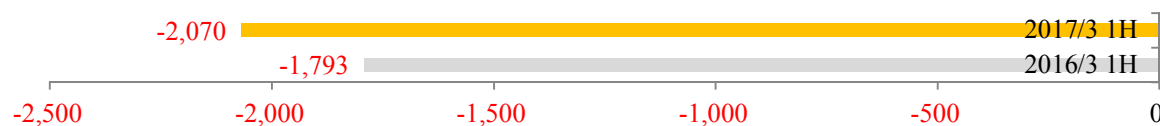
## 営業活動によるC/F



- 税金等調整前四半期純利益 2,865百万円
- のれん償却費 814百万円
- 法人税等の支払額 1,917百万円

(百万円)

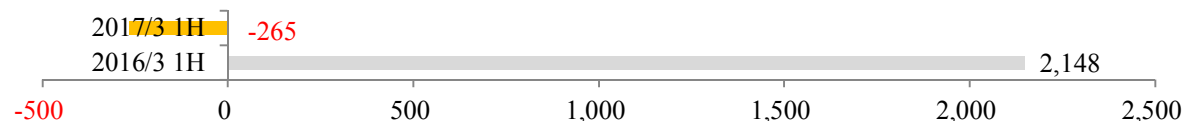
## 投資活動によるC/F



- 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 1,740百万円
- 有形固定資産の取得による支出 800百万円
- 投資有価証券売却による収入 561百万円

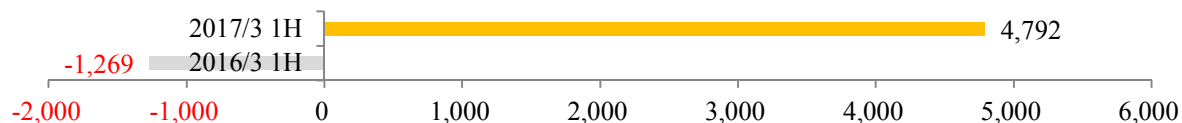
(百万円)

## フリーC/F



(百万円)

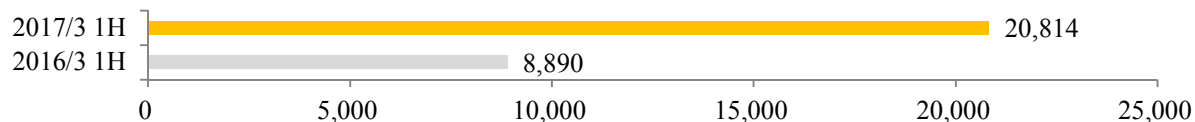
## 財務活動によるC/F



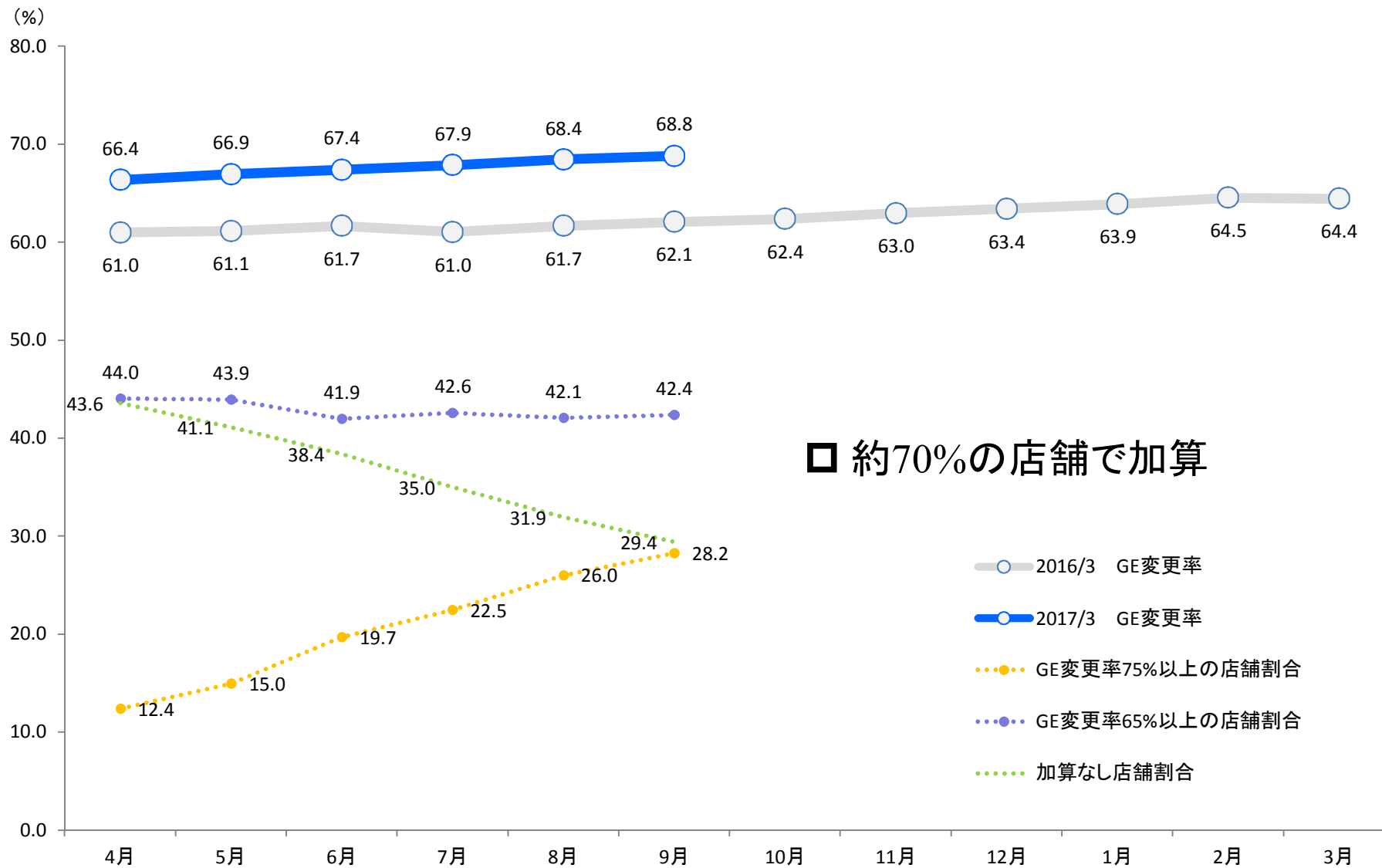
- 長期借入による収入 5,625百万円
- 社債発行による収入 1,983百万円
- 長期借入金の返済による支出 2,829百万円
- 配当金の支払額 482百万円  
1株12円配当(前年同期比 +2円)  
配当性向27.0%(2016/3 1H 18.2%)

(百万円)

## 現金及び現金同等物の四半期末残高



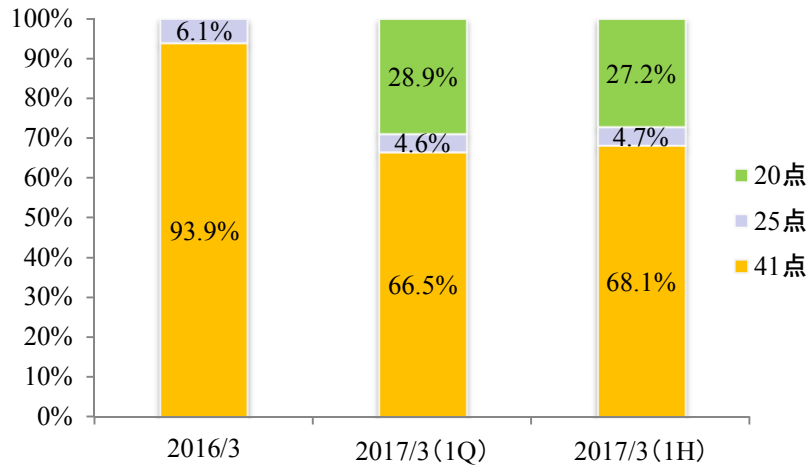




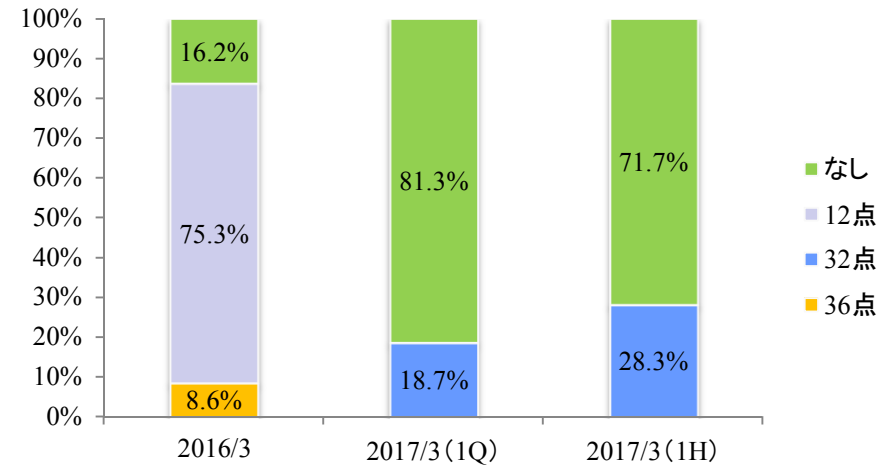
# 調剤報酬改定の影響



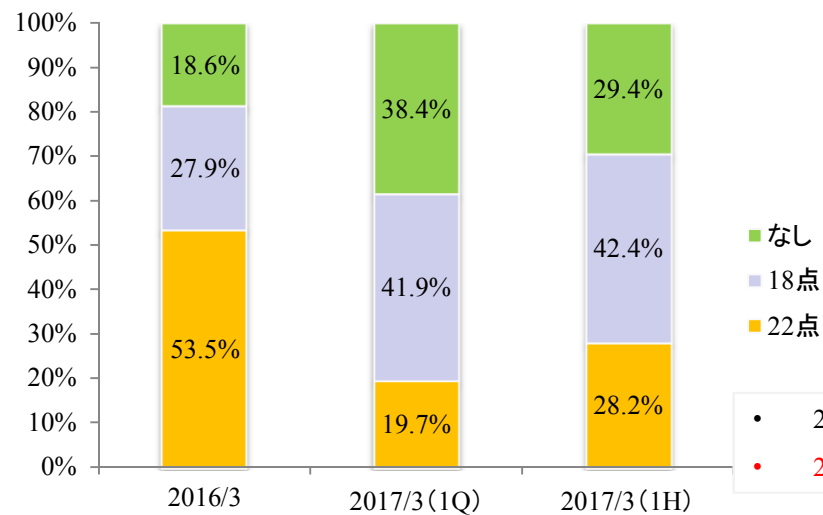
## 調剤基本料 店舗割合



## 基準調剤加算 店舗割合



## GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



- 2016/3期 18点:数量ベース55%以上 22点:数量ベース65%以上
- 2017/3期 18点:数量ベース65%以上 22点:数量ベース75%以上

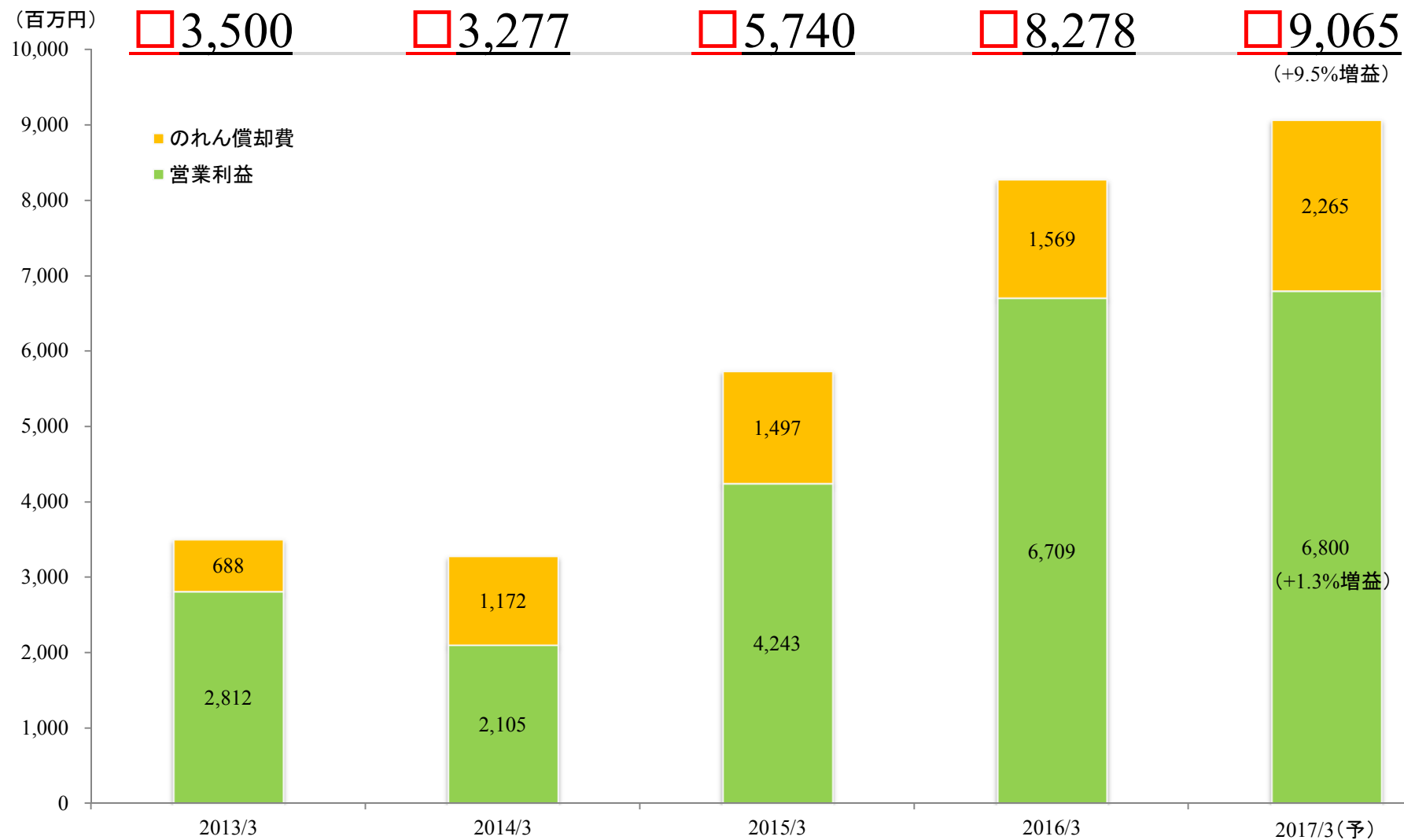
# 2017/3期予想



(百万円)	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3(予)	増減	増減率
売上高	100,966	114,363	124,957	138,000	13,042	10.4%
営業利益	2,105	4,243	6,709	6,800	90	1.3%
利益率(%)	2.1	3.7	5.4	4.9	-0.5	-
経常利益	2,208	4,262	6,655	6,800	144	2.2%
当期純利益※	777	2,155	3,641	3,700	58	1.6%
EPS(円)	25.11	63.33	105.81	107.28	1.47	1.4%
BPS(円)	521.60	557.42	604.49	-	-	-
配当金(円)	18.00	20.00	24.00	24.00	-	-
配当性向(%)	71.7	31.6	22.7	22.4	-0.3	-
時価総額	21,712	36,275	60,614	-	-	-
ROE(%)	5.2	11.9	18.2	-	-	-
ROA(%)	4.7	7.5	10.3	-	-	-
ROIC(%)	3.9	7.2	10.2	-	-	-
出店数	520	538	563	709	146	-
(LAWSON)	(37)	(37)	(32)	(40)	(8)	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

# 収益力・・・営業利益＋のれん償却費

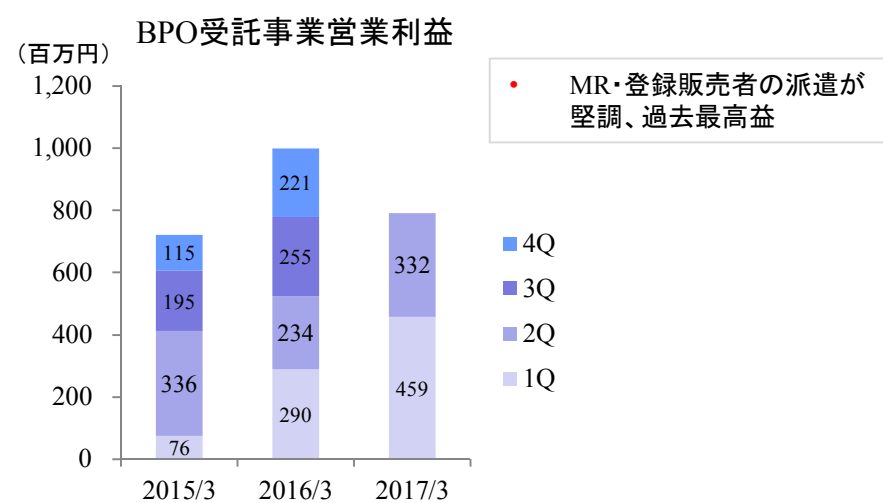
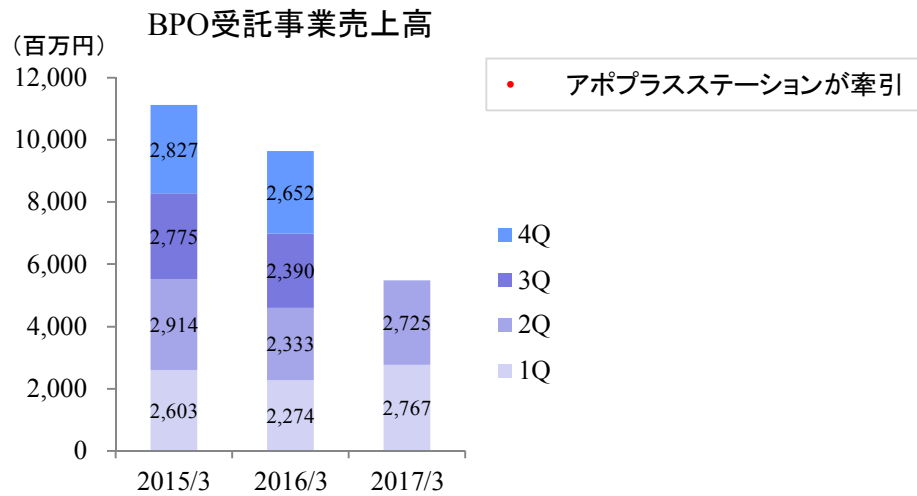
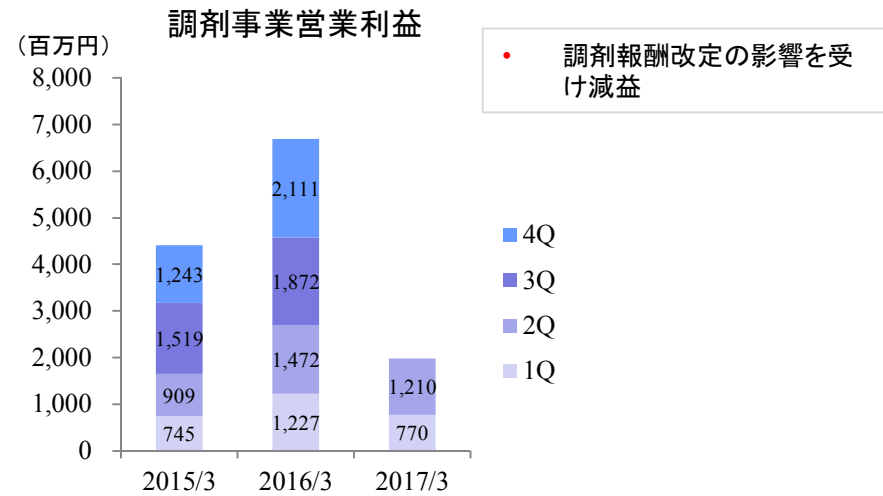
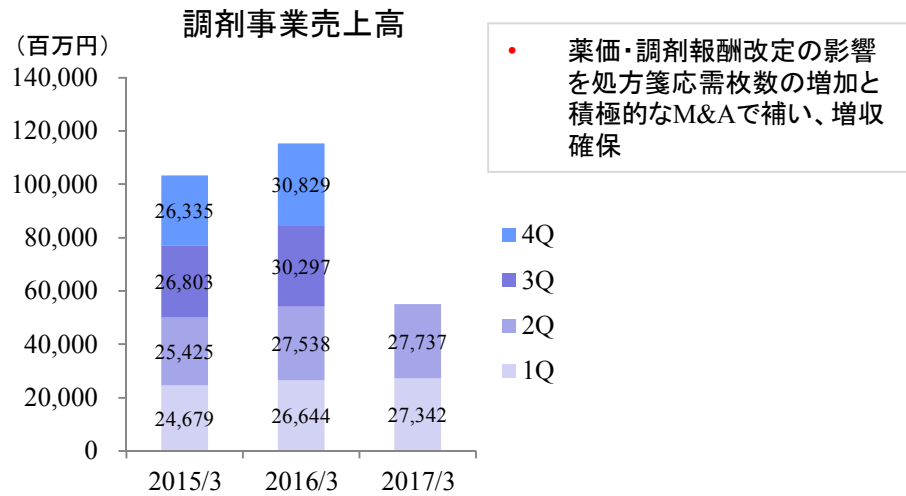


■ 2017/3期 1H決算概要

■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

# セグメント・・・四半期推移



✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率(%)
調剤事業売上高	54,182	55,079	897	1.7
薬剤料	37,573	38,269	695	1.9
技術料	11,159	11,575	416	3.7
その他	5,450	5,235	-215	-3.9
原価	48,713	49,850	1,137	2.3
原価率(%)	89.9	90.5	0.6	-
総利益	5,468	5,229	-239	-4.4
総利益率(%)	10.1	9.5	-0.6	-
営業利益	2,711	1,980	-731	-27.0
利益率(%)	5.0	3.6	-1.4	-
BPO受託事業売上高	4,607	5,492	884	19.2
原価	2,888	3,461	573	19.8
原価率(%)	62.7	63.0	0.3	-
総利益	1,719	2,031	312	18.2
総利益率(%)	37.3	37.0	-0.3	-
営業利益	524	791	266	50.8
利益率(%)	11.4	14.4	3.0	-

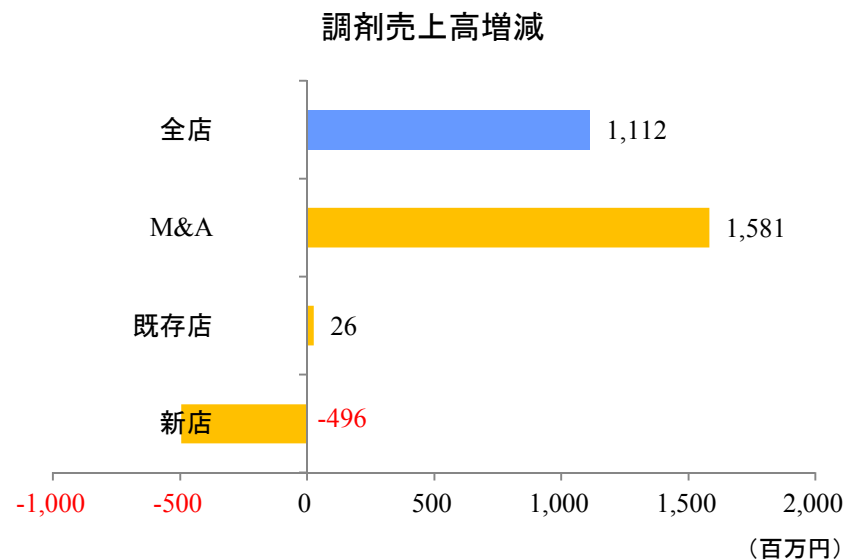
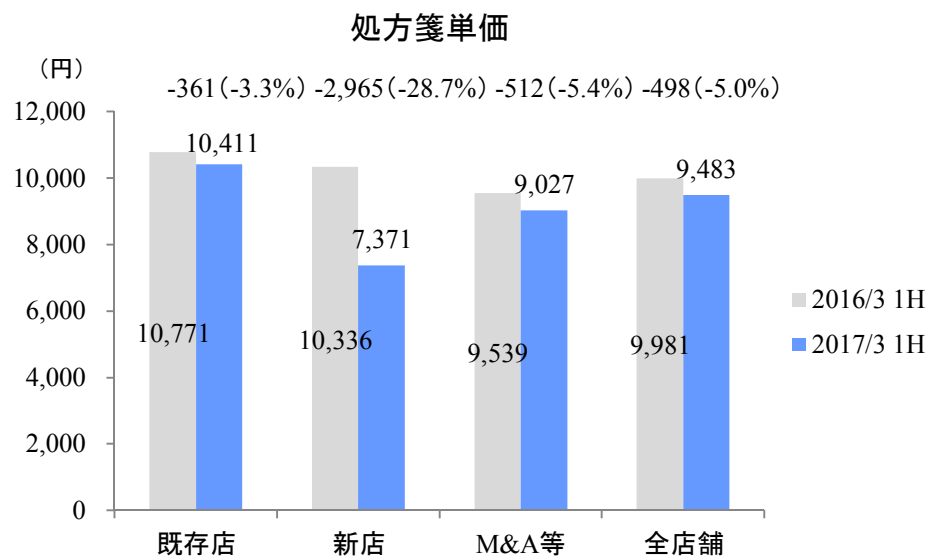
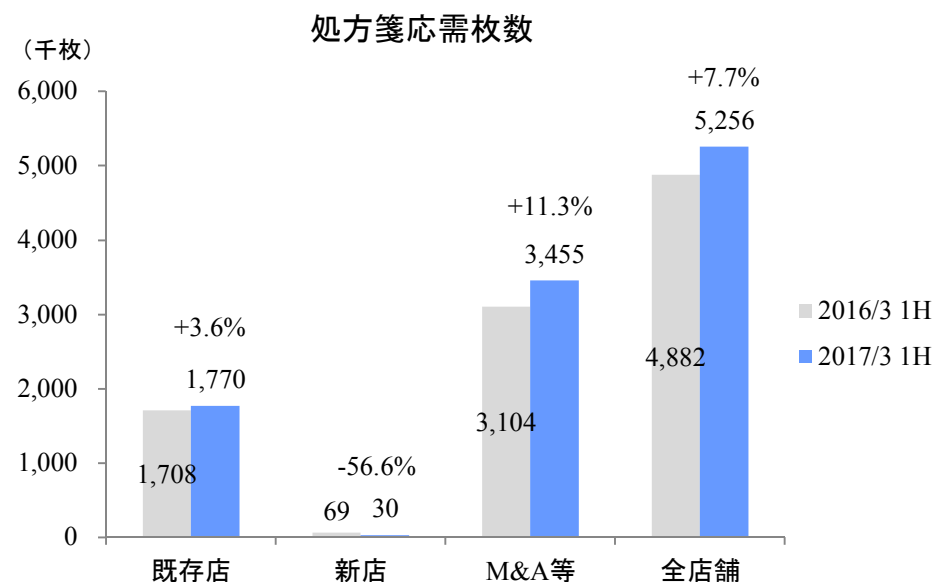
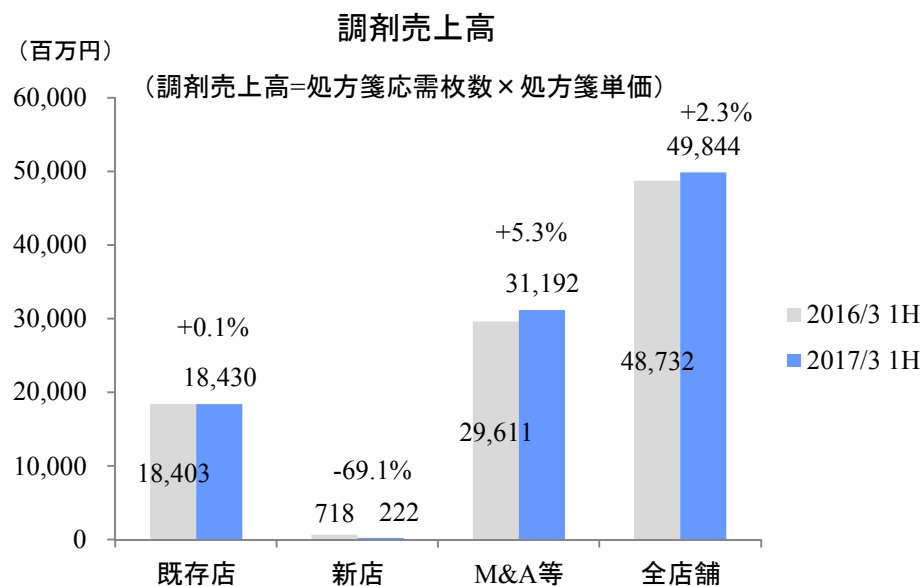
- 増収要因:
  - ✓ 既存店 +26百万円(+0.1%)  
(既存店 2014/3:+15.3% 2015/3:+13.0% 2016/3:+19.0%)
  - ✓ M&A +1,581百万円(+5.3%)
  - ✓ 処方箋単価下落(-5.0%)を処方箋応需枚数増加(+7.7%)で補う
- 減益要因:
  - ✓ 調剤報酬改定等の影響と人件費が増加したことが要因
- かかりつけ薬剤師同意書: 数万枚
- かかりつけ薬剤師指導料(70点): 処方箋受付回数に占める算定割合は、1Qと比較して約2倍
- かかりつけ薬剤師届出割合(店舗勤務者比率): 約34%
- 増収・増益要因:
  - アポプラスステーションが2ケタの増収増益(最高益更新)  
CMR以外では、登録販売者派遣が好調(+107.0%)

□ アポプラスステーション業績

(百万円)		1Q	2Q	3Q	4Q	Total
売上高	2017/3	2,415	2,306			4,722
	2016/3	1,981	1,911	1,930	2,137	7,961
営業利益	2017/3	511	372			883
	2016/3	324	251	251	289	1,116

✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

# 調剤事業売上高内訳





■ 2017/3期 1H決算概要

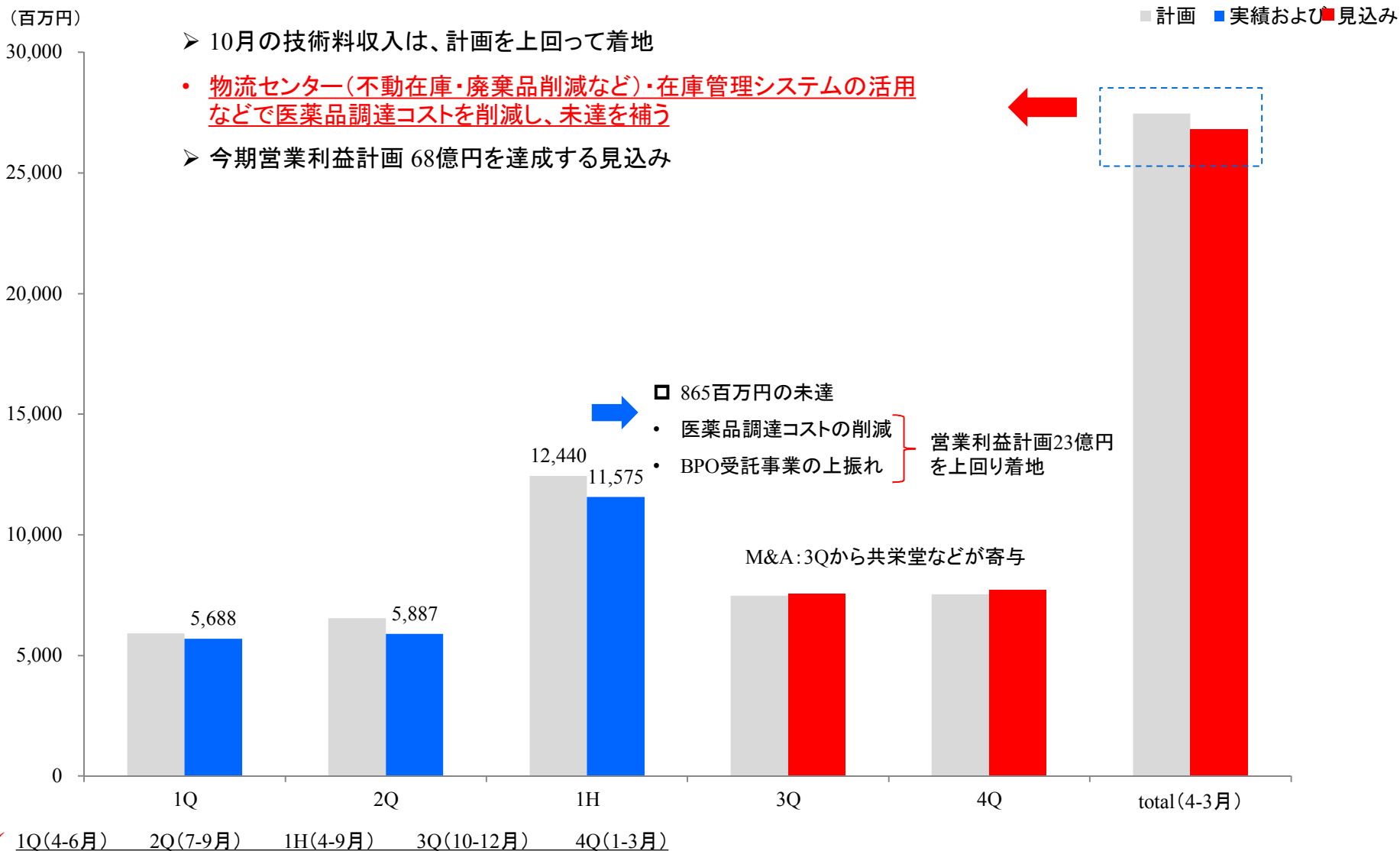
■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

## □ 2017/3 1H 決算総括

- 利益は、会社計画を上回り着地。
- 「かかりつけ薬剤師」同意書100件以上取得している薬剤師は、約160名。
- 調剤基本料特例除外の店舗数・・・4店舗(下期も拡大見込み)。
  
- アポプラスステーション過去最高益(営業利益:883百万円 +53.6%)  
✓ 営業利益率: 2016/3(1H) 14.8% → 2017/3(1H) 18.7%(+3.9%)  
✓ タイ事業が始動
  
- JR西日本G・・・下期に2店舗出店予定(計6店舗)。
- 首都圏初 駅ナカ出店・・・小田急線百合ヶ丘駅(9月出店)。
  
- LAWSONは、調剤部門が堅調に推移(売上高 +4.9%)。
  
- 在宅・・・売上高12億円(+9.3% 居宅比率40.5%) 受付回数12万回(+3.1%)  
店舗数269店舗。

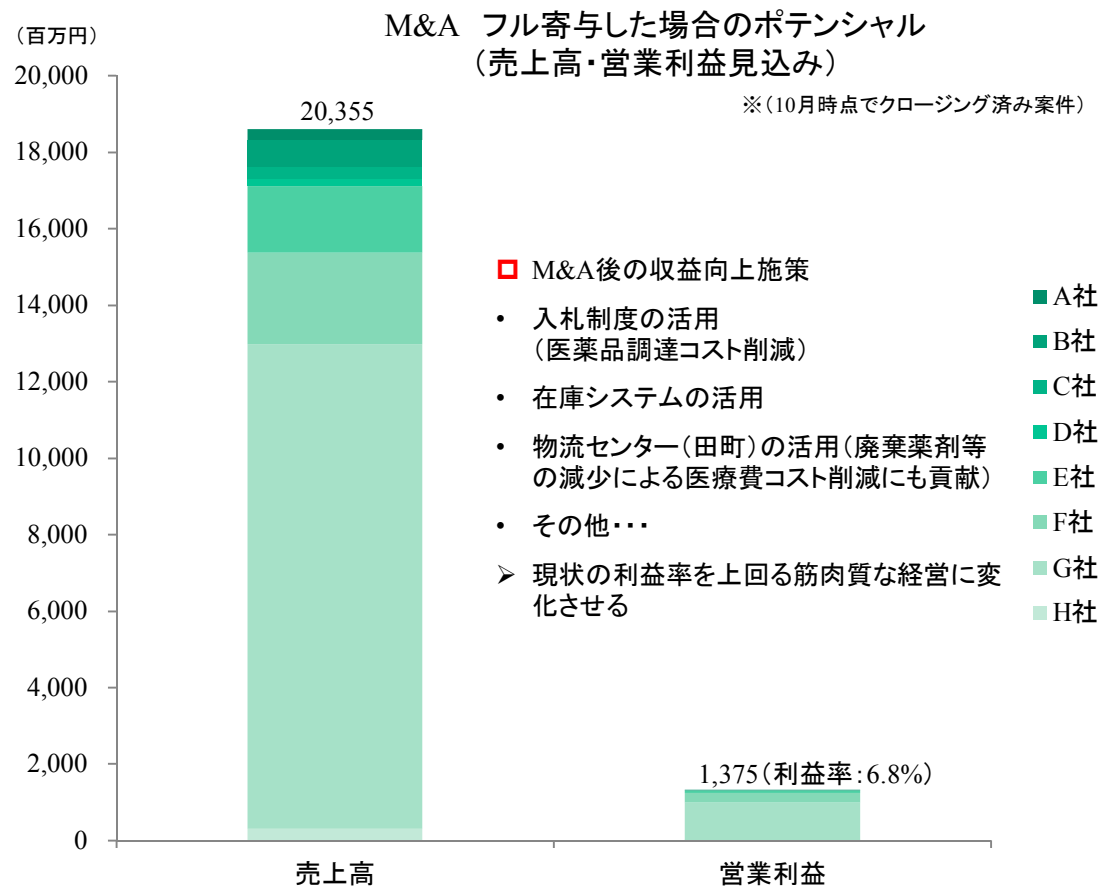
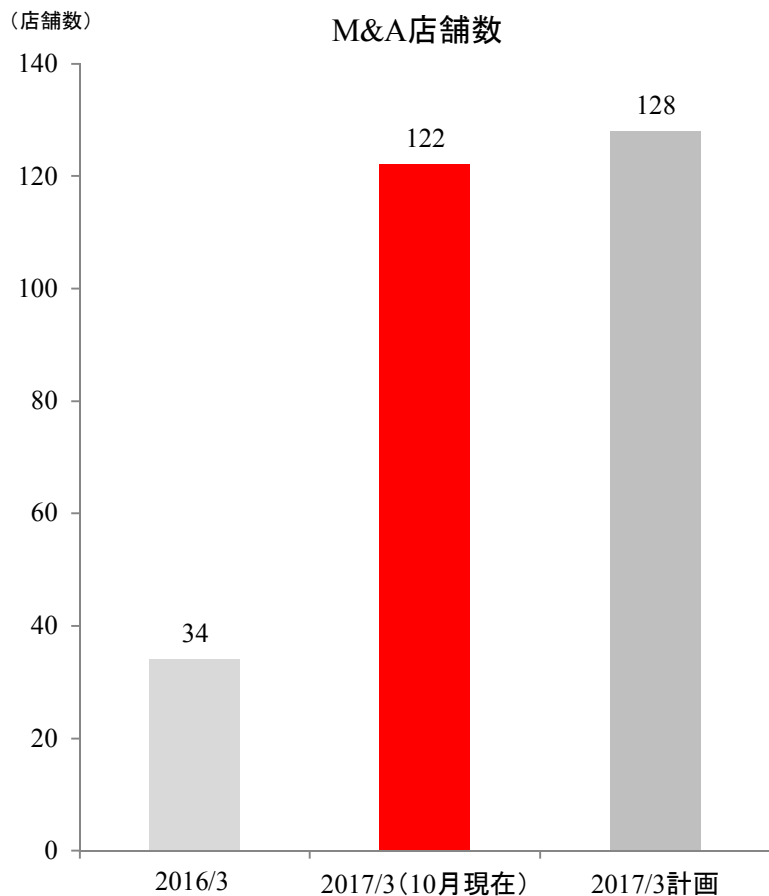
# 技術料収入



# 積極的なM&A



- CBで調達した100億円を積極的に活用
- 共栄堂・・・売上高 約130億円(86店舗 新潟・山形)
  - 新潟県81店舗となる(東京に次ぐ規模)
- その他・・・売上高10億円以上の案件増



# 調剤 & 物流センター(総合支援センター)・・・田町に開設



## □ 調剤(QOLサポートクオール薬局田町店・面対応)

- 健康サポート薬局機能
- 老健向けサポート機能
- 薬剤師フォロー機能(認定薬剤師のアドバイス機能)

## □ クオール物流センター

- 調剤との一体運用
- 物流費・破棄品・不動在庫削減など・・・約5億円の削減効果が期待される

### ヤマト田町ビル

2F 物流センター 175㎡

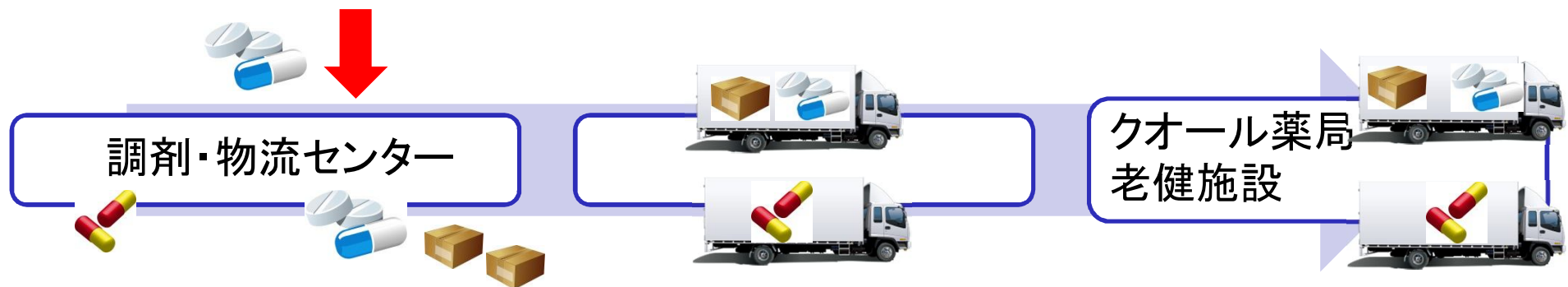
1F 調剤 117㎡

総合支援センター

クオール薬局(全国)

在庫管理システム

<PLAN>



# 駅ナカ薬局・・・小田急線百合ヶ丘駅(首都圏1号店)



- 9月オープン
- 1日平均乗降人員:21,522人  
(2015年度、前年比1.9%増)<sup>※</sup>  
※出所:小田急電鉄
- 店舗形態:面対応薬局
- 面積:21m<sup>2</sup>
- 時間:8:00-20:00(月-土曜日)
- 9月処方箋応需枚数:400枚超
- 9月応需医療機関数:100超
- 立ち上がりは好調
- 駅周辺は、調剤薬局が少ない
- 大学病院へのバス発着駅

## 積極的な事業展開で2ケタの増収増益を目指す

